



# がん対策推進企業アクション 女性のがん対策活動

## “Working RIBBON (W RIBBON)”

### 「乳がん・子宮頸がん検診80%チャレンジ」

Working RIBBONオフィシャルサポーターによる  
2025年度 優良企業インタビュー Vol.1

西村あさひ法律事務所・外国法共同事業（東京都）

『ピンクリボンを機に所内連携も強化！幅広いがんの啓発へ』



#### ■事務所概要

設立 1966年

本社 東京都千代田区

事業内容 クライアントのビジネスとそれを取り巻く環境への深い理解に基づく、各業務分野における最高レベルのアドバイスを提供

所員数 750名、内女性686名（2025年10月現在）

#### ■がん検診受診率（2024年度）

乳がん検診 : 70%（全所）

子宮頸がん検診 : 69%（全所）

■インタビュー(右画像：上)  
西村あさひ法律事務所・外国法共同事業  
人事課 シニアマネージャー 石黒様  
人事課 福士様  
総合変革課 今西様



■インタビュー(右画像：下)  
(がん対策推進企業アクション  
Working RIBBONオフィシャルサポーター)  
東京都社会保険労務士会 副会長  
成田妙庫様



▲オンライン取材の様子

## ■取り組みインタビュー

オフィシャルサポーター 成田様  
(以下成田様)

がん対策推進企業アクションにサポート企業に登録、そしてWorking RIBBON 80%チャレンジにご参加いただいたきっかけからお伺いしたいです。

西村あさひ法律事務所・外国法共同事業  
今西様 (以下今西様)

2023年度に当事務所のバンコクオフィスから「ピンクリボンを推進し、乳がんについて考える機会を作ろう」という提案がありました。この取り組みに賛同し、東京大手町オフィスでもピンクリボン運動を推進し、がん対策への意識向上に取り組む活動が始まりました。

受診率アップという定点的な目標を実施するにもよい機会と思い、2024年度に80%チャレンジの宣言に至りました。

成田様

推進パートナー企業登録、80%チャレンジ宣言をして、現在の状況はいかがでしょう？

今西様

昨年に登録したばかりで、結果が目に見えるのはこれからですが、企業アクションの講演会なども大変勉強になり、所内でも「自分事としてとらえることができた」という声も聞こえてきています。啓発の一環として、着実に成果が出てきていると感じます。

成田様

もともと受診率は低くないようにお見受けしておりました。ここからさらに80%を目指していただくのは大変さがありそうですが、貴事務所では非常に面白い取り組みをされていますね。

## 今西様

10月のピンクリボン・がん啓発月間の知名度を活用し、所内でも啓発活動を行っています。昨年は、オリジナルのピンクリボンを手作りする『MyピンクリボンPin作成イベント』や、所内カフェのトレーに乳がんに関する豆知識を印刷した紙を敷いたり、ピンク色の服やアクセサリなどを身に着けた方にピンク色の限定ドリンクをサービスするなど、楽しみながら活動が広がるようなしかけを複数行いました。

## 成田様

国内外に多数の拠点があるそうですが、従業員の9割が女性というところも驚きました。年齢は平均するとどれくらいの方が多いのでしょうか。

## 西村あさひ法律事務所・外国法共同事業

### 福士様（以下福士様）

20代から30代の若い世代が多いですね。私は人事課の一員として健康診断の手配などもしています。肌感覚になりますが、やはり若い世代の方は病気というものがそこまで身近ではないように感じていました。年齢層がある程度上の方は検査も積極的に受けてくださるという印象はあります。

## 成田様

お若い方は元気いっぱいですね。その若い世代へのアピールなどで取り組まれたり、考えていらっしゃることはありますか？

## 福士様

2次検査の受診勧奨は今現在も積極的に取り組んでいます。婦人科検診についても、費用を事務所が負担する制度があります。また、婦人科検診は担当医師が全員女性です。

## 成田様

それは安心ですね。若い世代も受診しようというきっかけにもなると思います。治療と仕事の両立支援についてもジェンダー問わず取り組みをされているそうですね。

## 福士様

治療と仕事の両立支援に関しては、2023年にハンドブックを作成しました。所内イントラに掲載して、必要なときにすぐ見られるように整えています。

## 西村あさひ法律事務所・外国法共同事業

### 石黒様（以下石黒様）

所内の両立支援は主に2つの目的で運用しています。ひとつはスムーズな復職を目指す目的で、休職から段階的に復職ができる体制にしました。もうひとつは、復職後に同じ病状を繰り返さないようにとの予防の観点で、産業医によるフォローアップ面談を継続的に実施し、産業医と連携して個別に最適なプログラムなどを実施しています。

## 成田様

よく短時間勤務制度が会社にあっても、治療との両立でなかなか使えないという声も聞きますが、そのあたりはどのようにされていますか。

### 石黒様

主治医より「短時間勤務が望ましい」とご意見があれば、産業医の意見も踏まえ、実際に短時間で勤務ができるようにしています。

### 成田様

いきなりフルで復帰となるとハードルが高く、辞めざるをえなかったり、契約形態が変わってしまったりと、治療と仕事の両立が難しいという現状もあります。貴事務所のように柔軟な対応をしていただければ、安心して働けることに繋がると思います。80%チャレンジに取り組む中で、特にハードルとなったことはありますか？

### 今西様

現時点では大きなハードルは感じていませんが、人によって温度感が違うところがありますので、今後の参加促進には工夫の余地がありそうです。

### 成田様

受診率80%を目標として様々な取り組みをされていると思いますが、やってみてよかったこと、思いもしない良い影響が出たようなことはありますか。

### 福士様

この取り組みを通じて、サテライトオフィス、海外オフィスと大手町オフィスが部署や担当業務の垣根を越えて連携できる場面が増えました。他のオフィスとの連携強化に繋がったのは、嬉しい効果だと思います。

### 成田様

素晴らしいですね。今年の10月も取り組みを実施されるのでしょうか。

### 今西様

はい。今年は乳がんに限らず、事務所経費で検診が受けられるものなど、ほかのがんも啓発していく予定です。去年ピンクリボンの訴求をしたところ、大腸がんのブルーリボンなども取り組みに入れてほしいという嬉しい要望もありましたね。

### 成田様

ほかのがんへの関心にも良い影響が出てきているのですね。わかりました。では、これから取り組んでいくにあたり、新たにやってみたいことはありますか？

### 今西様

アイデアベースではありますが、育児支援やセクシュアルマイノリティに関する所内コミュニティのように、がんの治療などデリケートなテーマについても、安心して情報共有や交流ができるコミュニティができると良いのではと考えています。

### 福士様

人事課としては健康リテラシー向上のための、所内セミナーなどを実施していきたいです。



成田様

今お話ししたことと関連して、これからの展望や目標などがありますか？

今西様

今後は女性のがんだけに限らず、幅広くがん予防の啓発をしていきたいです。去年はがんサバイバーの方を招聘しましたが、今年はがん専門医の出張講座を行います。事後アンケートなどから、所員の関心をもとに今後の活動につなげていきたいと考えています。

成田様

具体的な活動も見えていらっしゃるんですね。女性が多い職場、それも若い世代が多い企業だからこそ、がん予防についてはぜひ周知、啓発して行ってほしいです。こうしたことを習慣化していくことによって、早期発見・早期治療に繋がっていくものだと思います。本日はありがとうございました。

石黒様・福土様・今西様

ありがとうございました。



■がん対策推進企業アクションについて

ホームページ：<https://www.gankenshin50.mhlw.go.jp/>

新規パートナー申請：<https://www.gankenshin50.mhlw.go.jp/about/registration.html>

Working RIBBON：<https://www.gankenshin50.mhlw.go.jp/workingribbon/index.html>

パートナー企業専用eラーニング：<https://www.gankenshin50.mhlw.go.jp/elearning/index.html>